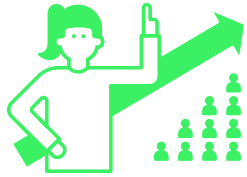


東京TSネットのさまざまな活動

更生支援コーディネート



- 更生支援コーディネート
- 更生支援コーディネーター実践者研修
- 相談窓口

更生支援コーディネーターが罪に問われた障害のある人と関わり、今後の生活について一緒に考えます。

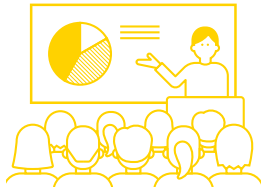
コミュニティづくり



- トラブルシューターズ
- 学生サポーター
- 地域型TS
- TSpace
- メーリングリスト
- TSupporters

誰もが安心して生活していける社会に向け、多様なつながりをつくります。

情報発信



- 事例検討会
- セミナー
- メルマガ
- 出前講座
- SNS (Facebook、Xなど)

東京TSネットが取り組む社会課題について発信し、より多くの人に知ってもらい裾野を広げていきます。

東京TSネットについて

「罪」と「障害」という2つのスティグマによって社会から排除されがちな、罪に問われた障害のある人たちを支援し、だれもが共に生きることができる社会を目指して活動する団体です。福祉・心理の専門家、弁護士、医師など多様な立場の人が関わっています。

2013年5月 任意団体「東京エリア・トラブルシューター・ネットワーク」活動開始

2015年4月 一般社団法人として法人化

2016年3月 『更生支援計画をつくる：罪に問われた障害のある人への支援』（現代人文社）出版

2021年3月 『障害者弁護ビギナーズ』（現代人文社）出版

2024年1月 『更生支援計画をつくる：罪に問われた障害のある人への支援（第2版）』（現代人文社）出版

2025年7月 相談件数がのべ300件を超える

力を貸してください

多様な人が関わることで、東京TSネットは成り立っています。
みなさんも、ぜひそれぞれの形で力を貸してください。

●「更生支援コーディネーター」に登録する

福祉・心理の専門性のある方に個別のケース支援を担っていただきます。

●「トラブルシューターズ」に登録する

地域の中で更生支援コーディネーターと連携し、支援をしていただきます。

●「学生サポーター」に登録する

東京TSネットの活動に興味のある学生が、領域をこえて集まっています。

●「TSpace」に参加する

だれもがその立場をこえて気軽に立ち寄ることのできる場を運営しています。

●「メーリングリスト」に参加する

具体的なケースのことも含めて、それぞれが相談しあえるつながりです。

●「TSupporters」になる（寄付する）

公的資金の裏づけがない活動のため、みなさんのサポートが基盤になります。

●「事例検討会」に参加する

具体的な事例について、参加者で検討します。オンラインでも参加できます。

●「セミナー」に参加する

「罪に問われた障害のある人」に関するテーマについて学びます。

●「メールマガジン」に登録する

東京TSネットの活動などについて、定期的に発信しています。

● SNSでつながる

X、Facebookなど、各種SNSでも活動について発信をしています。

法人名 一般社団法人東京TSネット

代表理事 中田雅久 山田恵太

住所 〒101-0041
東京都千代田区神田須田町1-2-1
カルフル神田ビル10階

メール info-tokyo-ts@tokyo-ts.net
※当法人へのご連絡はメールをご利用ください。

tokyo-ts.net

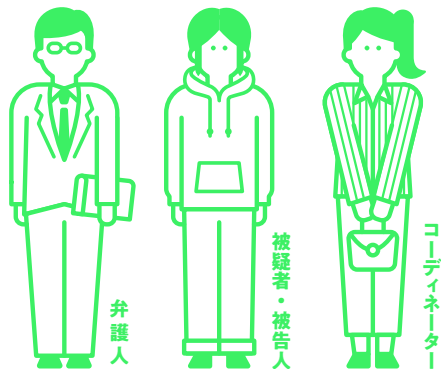


東京TSネット

「罪」の背景をひもとき
「障害」のある人と地域をつなげ
だれもが共に生きる社会をつくる

東京TSネットは、罪に問われた障害のある人を支援するために、「更生支援コーディネート」という活動に取り組んでいます。彼ら／彼女らは、「罪」と「障害」という二重のスティグマによって社会から排除されがちです。しかし、私たちは、だれも排除されず、共に生きることのできる社会を実現したいと考えています。ぜひ、私たちの活動について知ってください。

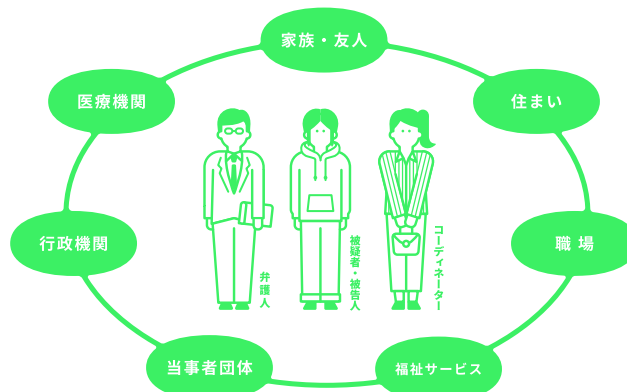
「更生支援コーディネート」とは



「更生支援コーディネート」は、罪に問われた障害のある人への個別支援を行う取り組みです。障害のある人が刑事事件に至ってしまう背景には、適切な支援につながっていなかったという事情があることが多いです。そこで、福祉や心理の専門家である「更生支援コーディネーター」が、その人が、その人らしく地域で暮らせるよう、本人との面会等を通じて、どんな支援が必要かを考え、「更生支援計画」と呼ばれる支援計画を作成し、社会復帰後の支援体制を構築します。

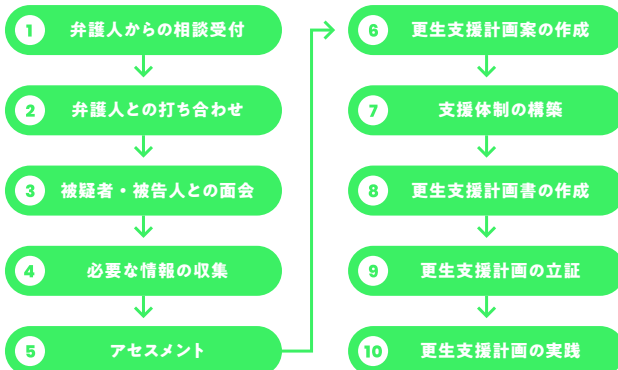
更生支援コーディネーターが力になることができます

さまざまな人や支援につなげていきます



更生支援コーディネートは、被疑者・被告人という立場になった人を、地域のさまざまなサービスやコミュニティにつなげていきます。もちろん、つなぐ先は図に書かれているものだけではなく、コーディネーターは、地域の中でご本人が安心して暮らせる状態になるのを見届けます。

その人に合った支援をすすめます



更生支援コーディネートのおおまかな流れです。もちろん一方通行ではなく、③～⑦までを行ったり来たりしながら、その方にとってどんな支援計画が適切なのかを考えていきます。

被疑者・被告人の方へ

更生支援コーディネーターは、みなさんの今後の生活と一緒に考えます。「今までの生活で〇〇に困っていた」「これから〇〇したい」など、思ったことを気軽に話してください。「福祉」の制度（自分ができないことを手伝ってもらったり、お金をしてもらったりするもの）なども使いながら、みなさんが安心して楽しく生活できることを目指します。

福祉関係者の方へ

障害のある人が犯罪に至ってしまう背景には、今までの生活のなかで十分な支援（心理的、社会的サポート）を受けられていないという事情があります。制度の「はざま」におかれ、生きづらさに気づかれないまま、犯罪行為に至らざるを得ない状況となっています。ぜひこの「はざま」の問題に一緒に向き合い、共に支援を考えていただけたら幸いです。

刑事弁護人の方へ

罪に問われた障害のある人は、そもそも障害の診断を受けていなかったり、何らのサポートがなかったという方がほとんどです。そのため、まずは、被疑者・被告人となった人の障害に気づいていただくことが重要となります。障害があるかもしれないと感じたら、すぐにホームページのフォームからご連絡ください。また、支援開始後は、ぜひ協働し、支援構築にご協力いただければと思います。

この活動に興味があるソーシャルワーカーの方は、ぜひ更生支援コーディネーターと一緒に活動しましょう。また、それ以外の方も、当事者や支援者を取り巻くコミュニティの一員として、私たちの活動にご参加いただければ幸いです。

